

特殊L型擁壁(L型+逆L型)出荷開始！

東京外かく環状道路 本線トンネル(南行)大泉工区 掘削残土仮置場整備工事

: 施主: 東日本高速道路株式会社関東支社 東京外環工事事務所

: 施工: 清水・熊谷・東急・竹中土木・鴻池特定建設工事共同企業体



シールド工事で発生する掘削残土の仮置場として、現在埼玉県和光市にある新河岸川水循環センター内の敷地内にて特殊L型擁壁で残土投入ピットをつくる工事が行われております。

今回御使用頂いております当社の特殊L型擁壁は、L型構造と逆L型構造をかね備える特殊構造となっております。

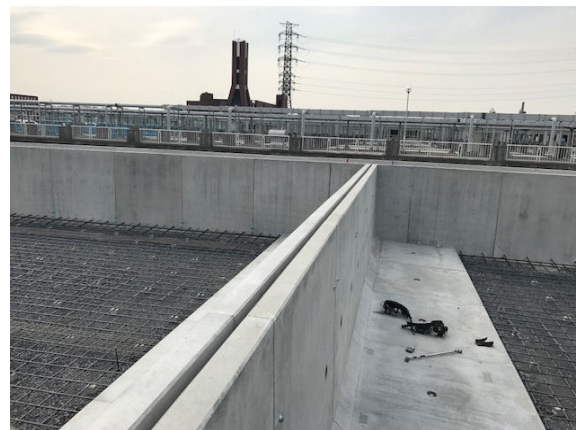
全高2.1m、製品長2.0mの特殊L型擁壁を1ピットで97本使用し、全部で20ピットつくります。

残土投入ピットだけで総数1940本、全高2.1mの特殊L型擁壁の総延長は3,880mとなります。

更に残土の移設ピットも2ピット、全高1.6mの同構造の特殊L型擁壁を124本使用しつくります。

残土投入ピット、移設ピットの外周は全高1.6mと0.7mのL型擁壁で囲い完成となります。

平成29年3月末より出荷開始となり現在施工中ですが、特殊L型擁壁及びL型擁壁の全使用予定数は約2,560本、総施工延長5,120mの工事となります。



東京外かく環状道路本線トンネル工事

